

## 11月19日（木）の夕方に見える 「月と惑星スマイル」

今の時期、夕方（18時～19時30分ころ）に南西の空を見ると、明るい星が2個、ななめにならんでいますね。右下のとても明るい星が「木星」、左上のちょっと暗い星が「土星」です。



上の写真は、11月16日の19:40頃、群馬県の北軽井沢にあるカメラを、遠隔操作（えんかくそうさ）して撮影したものです。もう少しで浅間山に沈む木星と土星が写っています。



「木星と土星」北軽井沢天文台で撮影 C. Tanaka

木星と土星は「巨大ガス惑星」です。とても遠い惑星ですが、地球よりもずっと大きいので、地球から見ても明るく見えるのです。木星にはしまもよう、土星には大きな環（わ）があるのが特徴です。



今の時期、地球から見て、木星と土星が近くに見えるのは、たまたま、土星と木星が同じ方向にあるからです。本当に木星と土星の距離が近づいたわけではありません。



木星と土星が近くに見える状態は、これからしばらく続きます。11月19日（木）の夕方には、これに「月齢4.2の月」が加わります。この月は「三日月」のように見えますが、三日月よりも2日あとの「五日月」です。土星と木星が「目」、月を「口」だと思えば、3つの天体が「笑い顔」のように見えますね。めったに見られない「月と惑星スマイル」です！

土星も木星も明るいので、スマホでも写ります。月も一緒に撮ってみましょう。何かしっかりしたものに、カメラを置いて撮ると、ブレずにきれいに撮れます。「月と惑星スマイル」が見えるころは、もうすっかり暗くなっているので、観察や撮影は、家の人といっしょに安全にしましょう。

(2020年11月)